

ゆきのあさのあしあと

こたえ

1年 ものがたり文 20ばん

なまえ

あさ、まどをあけると、にわが白くなっていました。ゆきがつもったのです。

りこがそとへ出ると、ゆきの上に小さな足あとがてんとついていました。

足あとをたどっていくと、木の下にすずめが一わいました。「おなががすいているのかな。」

りこはいえから、パンの小さなかけらをもってきました。木の下にそっとおいて、はなれて見ていました。すずめは、パンをくわえました。りこは、小さなこえで「やった。」といいました。

(1)「てんと」のいみにあうものをひとつえらび、きこうに○をつけましょう。

ア ところどころ、とびとびにつづいて

イ 一つだけぽつんと

ウ まっすぐな一本のせんになって

(2) 足あとをたどっていくと、木の下にながいました。ひとつえらび、きこうに○をつけましょう。

ア ねこ

イ からす

ウ すずめ

(3) りこは、いえからなにをもってきましたか。ぶんしょうからかきぬきましょう。

パ	の	小
ン	さ	な
か	け	ら

(4) すずめがパンをくわえたとき、りこはどんなきもちだったとおもいますか。かきましょう。

(れい) うれしいきもち。

かきかたのヒント

りこがいったことばを見てみよう。

「きもち。」で終わらせる。

解答・解説

ゆきの あさの あしあと（1年・ものがたり文）

この話はフィクションです。実在の人物・団体とは関係ありません。

もん 問1 ア

^{あし}足あとが、ぽつん ぽつんと つづいている ようすです。

もん 問2 ウ

^{みつ}三つ目の ^めだんらくに「^き木の ^{した}下に ^いすずめが ^{いち}一わ ^いいました」と ^か書いて あります。

もん 問3 パンの ^{ちい}小さな ^{かけ}かけら

^{よっ}四つ目の ^めだんらくに「^{ちい}パンの ^{ちい}小さな ^{かけ}かけらを もって きました」と ^か書いて あります。

もん 問4 （れい）うれしい きもち。

りこは「やった。」と います。うれしい、よかった、ほっとした などが かけて いれば ○です。